

Evaluating the Role of Serum
1,5-Anhydroglucitol Concentrations as an
Indicator of Hyperglycemic Changes in Diabetic
and Non Diabetic Surgical Patients

学位名	博士(医学)
学位授与機関	宮崎大学
学位授与番号	17601甲第412号
URL	http://hdl.handle.net/10458/4585

学位論文審査結果の要旨

博士課程 Ⓜ・乙	第 号	氏 名	田村 隆二
審 査 委 員		主 査 氏 名	中里 利光
		副 査 氏 名	丸山 高彦
		副 査 氏 名	中村 都英
<p>[論文題名]</p> <p>Evaluating the role of serum 1,5-anhydroglucitol concentrations as an indicator of hyperglycemic changes in diabetic and non diabetic surgical patients 1, 5-アンヒドログルシトールによる周術期の血糖評価の有用性についての検討 (Journal of Anesthesia & Clinical Research 4:3 DOI: 10. 4172/ 2155-6148.1000298)</p> <p>[要 旨]</p> <p>【背景】1, 5-アンヒドログルシトール (1, 5-AG) は短期間の血糖コントロール指標として、糖尿病の臨床に使われている。周術期のどの程度の高血糖が予後に悪影響を及ぼすかを評価する指標は無い。1, 5-AGの周術期の血糖評価指標としての仮説を38名の非糖尿病患者と19名の糖尿病患者を対象として、検証した。糖尿病患者では術前1, 5-AGは非糖尿病患者に比して有意に低値であった。非糖尿病患者と糖尿病患者とも、1, 5-AGは、術前と術翌日では有意に低下した。非糖尿病患者では1, 5-AGの低下率は術当日の血糖上昇率と有意な相関が認めなかった。糖尿病患者で1, 5-AG低下率と血糖上昇率に相関を認められなかったのは、術前から1, 5-AGが低値であったため、周術期の血糖変動を反映しきれなかったのではないかと考えた。非糖尿病で1, 5-AGは、手術当日の血糖評価の指標として有用であると結論づけた。</p>			